

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和7年1月30日（木） 第3委員会室
2. 出 席 委 員 吉川遂也委員長 藤原洋二副委員長 堀井秀昭 徳永泰臣 近藤久子 松本みのり
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 横山和昭議会事務局議事調査係長
5. 説 明 員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議に付した事件

1 行政視察のまとめ

午後1時24分 開 議

○吉川遂也委員長 ただいまから企画建設常任委員会を開会いたします。傍聴、録音、写真撮影、録画を許可いたします。

1 行政視察のまとめ

○吉川遂也委員長 本日の協議事項は1点です。先般1月14日に行きました広島LMOの視察についてのまとめをしたいと思います。当日欠席された方もいらっしゃいましたし、内容については、本日の会議資料に参加委員から提出いただいたものをまとめたものを掲載しておりますので御確認いただければと思います。また、それぞれ気になった点、あるいは参考になった点、意見交換ができればと思います。改めてもし気づきがあれば、発言をいただければと思います。いかがでしょうか。次の定例会の中で、自治振興区に対する提言のまとめに入りますが、その中での参考にします。特に気になった点、あるいはまとめの中に入れてほしい文言がありましたら、きょう発言いただければと思います。

○近藤久子委員 資料の中の写真で、例えばPTA、女性会、老人クラブ、消防団などが会議で集まったときに、上下関係なくやっていきます。その委員、写真に女性のほうが多かったのですね。今からこういうものを考えるときには、男女のバランス、女性はせめて3割という時代ではないような気がするのですが、半々であればいいし、そういうところをきちんと庄原市も考えていくべきではないかと思います。自治振興区の役員体制も女性は多く参加するのだけれども、うどんばかりつくっているとか。役割分担も上手に考えていかないと発展はないのではないかと思います。あえて広島市の場合は写真を出されたのかもしれませんが、今からの時代を映しているような写真と思って見ました。

○吉川遂也委員長 そのほか。まとめをどうしようかというところはあるのですが、この間の視察のどういった点を見たいかは私が提案したのでお話をしますと、自治振興区のような組織づくりは、正直、庄原市のほうが進んでいて、先行的に取り組んでいたのがわかったところです。広島市にしても、人口が非常に多いのですが、自治会の活動に参加する人はいないと。あるいはそういった組織の役員を引き受ける人はもっていないという状況、そういった点をどのように克服されるのかが、新た

に立ち上げられた広島LMOという取り組みであったように感じております。広島LMOについては地域に存在するありとあらゆる組織体や会議体の代表の方なりを、庄原という自治振興区的な組織の中で同じように課題解決をしていこうという趣旨である。そういったものだったように感じます。広島市にしたら小学校区単位、170 数団体の設立を目標ということで、半数以上がもう既に設立されたという報告であったのです。数万人とか1万人規模のような人数の多いところ、あるいはもっと小さい単位というところも含めて、運営の資金としては一律660万円を交付するというものであります。本市は組織する人数、あるいは面積等様々であって、交付する金額も様々という違いはあると思います。これは個人的な考えですが、一律交付は大変難しいことであると思います。今後一律交付がいいかどうかは議論には上がらないと思うのですが、算定基準の根拠の在り方については、若干考えなければいけないと提言していきたいと思っております。自治振興区的面積とか人数とかは、提言の中では一応触れる部分ではないかと個人的には思っております。皆さんの意見があれば、そういったところもお聞きするべきとは思いますが、あくまでも自治組織ですので、市、あるいは議会から組織の体制とか人数とか区割とかを提言するものではないと考えております。私の気づきはそういったところだったのですが、この視察を踏まえて、それからまた以前の事務局長を呼んでお話を聞いた点、そういったところも含めて今回の自治振興区に対する継続性を求める提言について、何か取り入れるべきところがあれば、きょうお話をさせていただければと思います。

○松本みのり委員 広島市では、地域の共同活動団体に対して行政が本当に全面的にバックアップしますよ、伴走支援にも自信があるのだというお話をされていたのがすごく印象的でした。自治振興区への提言ということですが、本来は自治振興区をどうバックアップするのか、支所と自治振興区のタッグの組み方についてもっと提言ができるとよいと思います。

○吉川達也委員長 少し勘違いがあっただけではないかと言いますが、今回の委員会としての提言は行政に対する提言になります。行政へどのようにすべきかを提言しますので、自治振興区に対する提言は違うかと思っています。先ほど言われたような伴走型支援は、必要なことかと思っています。そのほかありますか。作業としては事務局で資料の作成に入っています。まとめができましたら前回の所管事務調査と同じように事前に皆さんにメールなりで案を出しますので、それについての意見を出していただいて、仕上げに入っていきたいと思っています。調査報告の日程等については、事務局から。

○横山和昭議会事務局議事調査係長 調査報告ですが、3月定例会最終日でいかがかと考えておりますが、皆さんよろしいでしょうか。

〔「よし」との声あり〕

○吉川達也委員長 わかりました。日程調整をして、案をつくっていききたいと思います。これまで取り組んできた内容について、まとめ、あるいは提言の中にどうしてもこれは入れたいということがありましたら調整しますので、情報を事務局に送っていただければと思います。よろしいでしょうか。

〔「よし」との声あり〕

○吉川達也委員長 では以上をもちまして企画建設常任委員会を散会します。

午後1時33分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委 員 長